



横浜市立 瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成23年8月19日
平成23年度・第1号



ごあいさつ

会長 網代宗四郎

昨年度に引き続き、会長を務めさせていただきます網代でございます。浅学菲才な者でございますが、学校運営協議会のテーマであります“共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」～みんなの力で守り育てよう瀬谷さくら小学校・さくらの子”を念頭におき努力してまいりたいと考えております。皆様の温かいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

今年度の取り組みといたしましては、次の通り考えております。

児童の皆さんの健やかな成長を願い、登下校中の見守りと交通安全指導を、様々な教育支援活動を、楽しいはまっ子ふれあいスクール活動を、さらに、災害から児童の皆さんを何時、如何なる状況の中でも守る為の、学校・保護者・地域等の役割や連携を検討してまいります。

学校運営への理解と協力をいたしますと共に、当会の活動を皆様にご理解いただくための広報活動を行ってまいりたいと思います。

当会の活動に、ご理解とご協力をいただいております皆様にご参加願ひ、相互理解と連帯感を高める「研修会」を開催させていただきます。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

平成23年度委員の紹介

第1回学校運営協議会報告

役職	氏名	区分	団体役職
会長	網代宗四郎	地域代表	瀬谷区連合自治会町内会連絡協議会 副会長 瀬谷第二地区連合自治会 会長 南瀬谷ニュータウン自治会 会長
副会長	馬場勝己	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 副会長 ひなた山第二自治会 会長
副会長	野口周作	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 会長
書記	野口元	地域代表	瀬谷さくら小学校学援隊 事務局代表
会計	西村快晴	地域代表	瀬谷第二地区連合自治会 総務 下瀬谷第三町内会 元会長
会計監査	今井保美	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 元会長
会計監査	飯島通博	地域代表	下瀬谷団地自治会 会長
	靱山金久	地域代表	下瀬谷自治会 会長
	諸橋茂夫	学識経験者	横浜隼人高校教諭 ひなた山第三自治会 元会長
	田村順子	地域代表	瀬谷さくら小学校PTA 前副会長
	市川ゆかり	地域代表	瀬谷さくら小学校PTA 前副会長
	平山恵美子	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 前副会長
	青木俊太郎	はまっ子代表	瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクール チーフパートナー
	與倉光男	学識経験者	市立南瀬谷中学校 元校長 日向山小学校はまっ子ふれあいスクール 前チーフパートナー
	八嶋真理子	学校代表	瀬谷さくら小学校 校長
オブザーバー	三村弘美	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA副会長
	伊藤綾子	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA副会長

5月14日、第1回学校運営協議会に先立って、横浜市教育委員会西部学校教育事務所から青木指導主事、柿沼指導主事を迎えて、瀬谷さくら小学校運営協議会の平成23年度委員の委嘱式が行われました。

今年は、学校運営協議会が発足して2年目ということで、左表のとおり、学校長を除くすべての委員が留任し、役員も昨年に引き続き努めていただくことになりました。

また、新しく、保護者代表2名がオブザーバーとして会に参加することになりました。



平成23年度 中期学校経営方針

第1回学校運営委員会報告

中期学校経営方針に対する平成23年度の取り組み目標が、学校から提案され承認されました。(3～5ページ)

今年は中期計画(平成22年4月～平成26年3月)の2年目にあたり、あいさつ運動や学習支援ボランティアの充実など家庭や地域との連携がより鮮明に目標設定されています。教職員の研修分野では、研究授業や公開授業をとおして教職員の指導力向上を目指す姿勢が明確に打ち出されています。また、東日本大震災を機に、安全管理の面で防災計画が見直され、すでに実施に移されています。

学力向上アクションプランで取り上げられている読書タイムの設定やノート指導の徹底、語り合い授業の充実、などは子どもたちが修得したものをアウトプットする力を磨くために大変有用な取り組みとされます。

学校運営協議会としても、教育支援部会を中心にできる限りの協力をしていくつもりです。

健やかなこどもの成長を願う

校長 八嶋真理子



今年は、私たち日本人にとって大きな価値の転換点となりました。3月11日の大震災、それまであまり不安を感じることなく過ごしてきた日常生活が、実は薄氷の上の過信であったことを思い知らされることとなりました。健やかなこどもの成長を

願う教育の場も、例外ではありません。被災地から学ぶことは、地域人として生きることの大切さです。

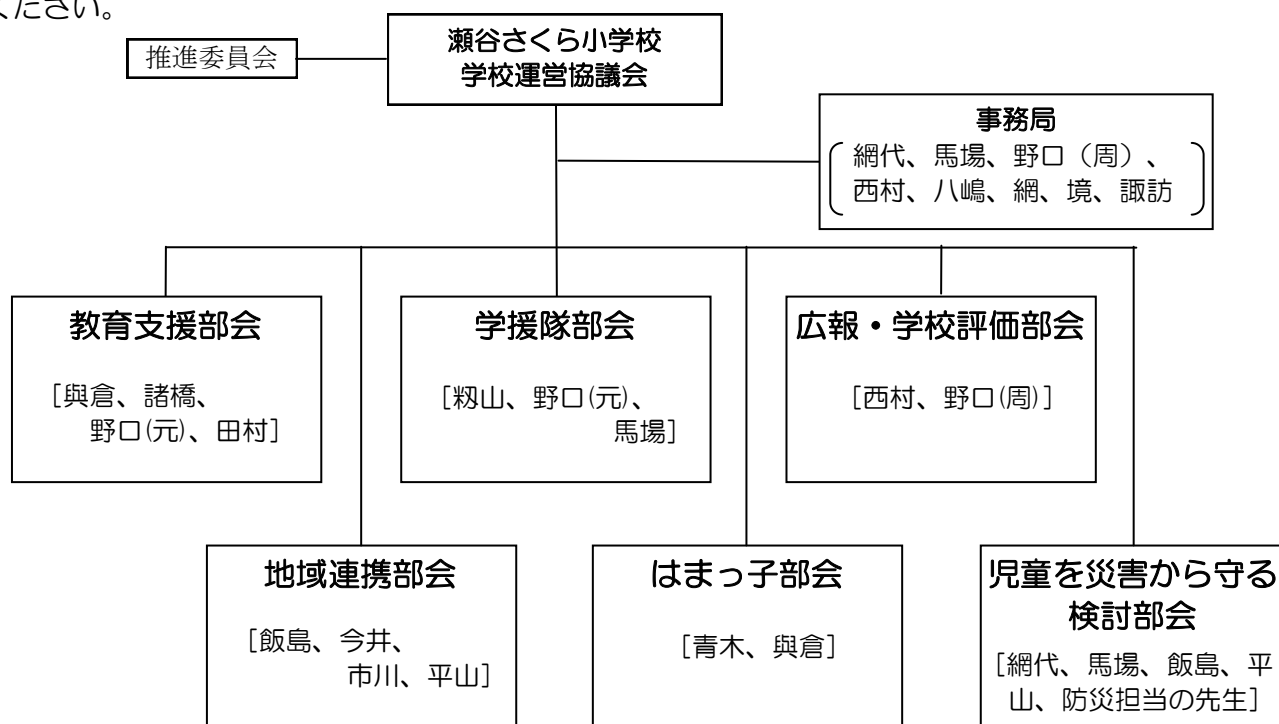
学校教育においても、地域の皆様との連携協働の中で、より良い教育を実現することが求められています。開校2年目を迎えた瀬谷さくら小学校では、中期学校経営方針を基に、学校運営協議会を中心に地域の皆様のお知恵とお力をいただきながら、豊かで力強い教育の実現を図って参ります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会組織と活動内容

第1回、第2回学校運営委員会報告

第1回学校運営協議会では、開校1年目の昨年度、大変重要な役割を担った「校歌・校章部会」に代わる有効な活動がないか、委員全員で考えていくことになりました。

第2回学校運営協議会では、「児童を災害から守る検討部会」が新たに提案され承認されました。各活動部会の担当委員は下図のとおりで、活動内容については、7ページの各活動部会長のメッセージをご覧ください。



平成23年度 横浜市立瀬谷さくら小学校 中期学校経営方針

中期計画期間	平成22年 4月 ～ 平成26年 3月
学校教育目標	<p style="text-align: center;">「自分大好き 友だち大好き このまち大好き さくらの子」</p> <p>(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。 (徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。 (体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。 (公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。 (開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。</p>
中期目標	<p>(知) 基礎・基本を身につけ、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。 (徳) 善悪の判断のできる子、自分を大切に・他を思いやれる子に育てます。 (体) 望ましい生活習慣を身につけ、進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。 (公) 地域の方々とのふれあいを通じて、地域を愛する子どもを育てます。 (開) 情報教育などを中心に、様々な今日的課題に対応できる力を育てます。</p>
目標設定の理由	<p>再編統合にあたって地域・保護者が学校に対して抱いた思いの実現を図ります。そのために、学校を中心として、児童・保護者・地域が願いを共有し、意見を尊重した取り組みが重要です。上記の目標を設定し、地域参画型の学校を目ざし学校運営協議会で意見を出し合い、協働して子どもの将来に責任をもちます。</p>
共通取組内容	取 組 目 標
児童生徒育成	<p>人間形成</p> <p>知・徳・体・公・開で示す子どもの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読む・聞く・話す・書く・計算力を高める指導を充実させます。 ○読書力向上を図る取組の充実を図ります。 (図書館ボランティアの活用) ○道徳教育の充実を図ります。 ○規範意識や挨拶を大切にしている指導の充実を図ります。 (年間生活目標の重点化「あいさつ、返事、言葉遣い」) ○人権尊重の精神を基盤とする教育を推進します。 ○体力向上に関心をもたせる指導をします。 (瀬谷区体育協会「いきいきキッズモデル事業」) ○自己有用感を高める指導をします。 ○ICTを活用し、指導の充実を図ります。 (校務処理ソフト活用モデル校) (文部科学省委託事業コミュニティスクール推進校「地域力の活用」)
	<p>学力形成</p> <p>学力向上アクションプランの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○瀬谷さくら小学校算数検定、国語検定を実施します。(校内漢字・計算検定試験に力をいれ、子どもが自分のペースで意欲的に取り組み、基礎的な力が身に付けられるようにします。) ○自分の考えを持ち、筋道立てて友だちに説明できるようにします。 ○各学年毎、具体的なプランを策定し実践します。特に漢字・計算については家庭との連携を図り重点的に指導します。 ○生活・学習の基礎として、基礎的な言語事項を一人ひとりに身に付けさせます。
小中一貫教育推進ブロック内での取組	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の相互授業参観、教育課程検討会、児童生徒指導連絡会、児童生徒交流日を活用して、異校種理解を深めます。 ○教育課程・児童生徒指導や不登校予防・解消について、協働できる体制づくりに取り組みます。
校内人材育成の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○若手教職員の育成のため、校内OJTを充実させます。 ○「チームさくら」を組織し、自分たちの手で研究研修に力を入れます。 ○管理職自らが職員の勤務・指導状況を的確に把握し、助言・支援を行います。
重点取組分野	取 組 目 標
3 児童・生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶運動を実施し、元気で、気持ちの良い挨拶のできる児童に育てます。 ○児童一人ひとりを大切にし、児童・保護者の思いに耳を傾けます。 ○不登校や問題行動の芽を見逃さないよう、普段から職員間の共通理解を図り児童の様子を細かく見ていきます。 ○外部機関との連携を図り、継続的にコンサルテーションを活用して子どもの情報交換・職員研修を充実させます。 ○異学年交流により、思いやりの心を育てます。 ○定期的にアンケートを実施し、児童・保護者・地域の声を吸い上げます。

8	研究研修	<ul style="list-style-type: none"> ○校内重点研究等の研究授業を通じた言語活動の充実に向けた研究・研修、また公開授業(瀬谷区一斉授業研究会 理科 総合的な学習)の設定により教員の指導力向上、授業の改善を図ります。 ○指導主事など外部講師を招き、研修を充実させます。
9	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会を通して、地域と連携し、教育環境の充実と地域参画型の学校運営を目指します。 ○学習支援ボランティア等の充実を図ります。 ○地域人材や地域教材の開発につとめ、地域の教材化を進めます。 ○多くの地域人材を生かし、児童の学習や安全環境を整えます。 ○学校便り、ホームページを通して、細やかな情報発信に努めます。

中期学校経営方針における10の取組分野

取組分野	取 組 目 標
1 教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○授業力向上を目指した授業研究や研修の充実。児童の基礎学力充実を図ります。 ○指導事項、指導内容の確実な習得を目ざし、言語活動の充実を図ります。 ○読解力・文章表現力の育成のため、指導と評価の一体化を図ります。 ○市学習状況調査の結果を分析し、市の結果との比較から学習課題を把握して、基礎学力定着のための具体的なプランを策定し取組を進めます。
2 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の様々な立場の人とのふれあいを通し、生き方について関心をもたせます。 ○学援隊や学習ボランティアなど、学校を支援してくださる方々や、社会見学等で働く人の生き方にふれる機会を充実します。
3 児童・生徒指導	※重点取組分野で設定のため記載なし
4 保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ○食教育・いのちの教育等の指導の充実を図ります。 ○「いきいきキッズ体力向上計画」を引き続き実践します。 ○朝の特別陸上クラブなどを通して、自分の健康について関心をもてるようにします。
5 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○不審者等による事件から児童を守るため、登下校時の校門立会や下校時の校門への誘導を徹底します。 ○学援隊との連携を図り、児童の安全指導を充実させます。 ○防災計画を見直し、児童自らが自分の命を守る防災教育の充実と職員の危機管理対応への取り組みを行います。
6 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○西部療育センターとの連携を図り、コンサルテーション等を継続的に行い、児童の実態把握、情報交換・研修に力を入れます。 ○個々の児童の様子を観察し、職員間の情報の共有化を図り、全職員での指導の充実を図ります。
7 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○整理・再編した組織で職員の活発・円滑な学校運営を目指します。 ○チーム力を生かした組織運営を目指します。 ○学校創造委員会など横断的な組織の機能を有効に活用し、適時、課題解決と新たなプランニングが迅速に行われるようにします。 ○各組織が情報を共有化し、組織的に円滑な取組が行われるようにします。
8 教職員の研究研修	※重点取組分野で設定のため記載なし
9 保護者・地域住民との連携	※重点取組分野で設定のため記載なし
10 教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の安全点検、環境整備に努めます。 ○全職員で、朝の登校見守り、夕方の施錠及び施設の安全確認にあたります。 ○改修整備された空間等の有効活用を図ります。 ○地域人材を教育活動に活用する人的環境整備につとめます。
11 その他	<ul style="list-style-type: none"> ○教育公務員として他に恥じない行動をするよう自らを律していきます。 ○常に研鑽を積み、魅力ある教職員になるよう努力をします。 ○児童に愛情を注ぎ、優しく見守ります。 ○保護者が安心できる信頼される教職員としてチームワークに努めます。

横浜市立瀬谷さくら小学校

平成 23 年度 学力向上アクションプラン

(1) 学力向上への取り組み

- 瀬谷さくら小算数検定・漢字検定を昨年度に引き続き実施し、計算力・言語能力の向上を図ります。
- 放課後補充学習期間を毎月一週間程度実施し、基礎学力の向上を図ります。
- 国語科を中心とした授業研究を行い、児童の読解力向上に向けて取り組みます。
- 読書タイムを設けるなど、児童の読書量を増やし、様々な文章や資料を読む機会を充実させます。
- 各クラスにおける学力の実態を分析し、クラスの実態に応じた反復練習を取り入れることで基礎学力の向上を図ります。
- ノート指導の徹底を図り、自分の考えを表現する機会を充実させることによって、児童が筋道立てて、わかりやすく自分の考えをまとめることができるようにします。
- 語り合いの授業を多く取り入れ、聞く態度を育てるとともに、筋道立てて説明することができるようにします。
- 家庭との連携を密にし、生活リズムの確立、家庭学習の習慣化を図ります。

(2) 人間形成への取り組み

- 道徳教育の充実を図り、語り合いを通して道徳的価値を感得させます。
- 「返事・あいさつ・言葉遣い」を合言葉に、基本的な礼儀を身につけさせます。
- 瀬谷さくら小スタンダードを徹底させ、全校児童共通に正しい学習態度や生活態度を身につけさせます。
- 特別合唱クラブ・特別陸上クラブ等を設置し、規則正しい生活を送れるようにするとともに、協力し合う大切さや充実感を実感できるようにします。
- ペア学年・たてわり学年の活動を充実させ、他の学年の児童を思いやる心を育てます。
- キャリア教育を念頭において様々な教育活動を行うことにより、将来への夢や希望をもてるようにします。
- 特別支援コーディネーターを中心に児童の共通理解を図り、全職員で子どもを見取るようにします。
- 学校運営協議会を中心とした地域の教育力を活用し、児童が地域の一員として自覚し、地域とともに生きていこうとする意識を育てます。



児童を災害から守る検討部会発足

第2回学校運営協議会報告

7月7日、第2回学校運営協議会で、会長より「児童を災害から守る」ことを検討する活動部会の設置が提案され、全会一致で承認されました。

大規模地震発生時

大規模地震警戒宣言発令時

の対応について

【登校前】

臨時休業とします。登校は中止させていただきます。

【登下校中】

児童は、学校か家の近い方へ避難します。

ただし、家に保護者がいない場合、学校へ避難します。

教職員は、学校で人員確認後、担当地域の通学路を確認します。

学校にいる児童は引き取り下校となります。保護者の方は引き取りをお願いします。

【課業中】

児童は校庭に一時避難をします。

1次避難後の対応は、

○校舎がおおむね安全な場合

教室に戻り、各教室で引き取り下校となります。

○校舎に倒壊または火災の恐れがある場合

2次避難を開始します。場所は「旧日向山小学校前畑地」です。

2次避難場所へ引き取りをお願いします。

ただし、状況に応じて学校に戻ることも考えられます。

○学校が地域防災拠点の避難場所となった場合

地域防災拠点運営委員会の指示のもと、学校で待機となります。

地域・保護者の方も学校に避難となります。

学校からの連絡は、基本的にメール配信または電話連絡で行いま

すが、状況によってはメールが配信されない、電話が繋がらない

ことが予想されます。テレビ・ラジオ・インターネット等で状況を確認

しつつ、適切な対応をお願いします。

設置の趣旨

次代を担うかけがえのない児童の皆さんを、あらゆる災害から、しかも、いついかなる状況においても守れるよう、学校、家庭、地域の役割と連携のありかた、および、児童の皆さん自らも災害対応能力を備えることが大切と考え、諸検討をする活動部会の設置を行うものです。

想定災害

*地震災害

*水害（境川、相沢川の氾濫）

*豪雨や台風

*火災（地震発生に伴うものも）

*崖崩れ

活動部会の役割

①災害発生時、発生直後の児童の皆さんを守る学校、家庭、地域の行動マニュアルの検討、作成と普及啓発活動

②マニュアルに基づいた防災訓練の検討

③災害発生に強い通学路を目指し、通学路の確認と危険個所の改善を図る（崖崩れ、家屋や建造物の倒壊、橋の崩壊、等の危険）

学校でも東日本大震災を機に、大規模地震発生時の対応が見直され、左のようなマニュアルが発表されました。7月6日には「引き取り訓練」も実施されています。

今後、保存版「各種警報発令および災害発生時における児童の安全確保について」も含めて見直しを行ってまいります。

学校運営協議会全体研修会の開催(予定)

学校運営方針や運営目標、運営協議会の活動およびその部会活動への理解を深めていただき、児童・学校にかかわっていただいている方々の連帯を深めるために、学校運営協議会の発表会を開催することになりました。

9月17日（土曜日）10:00～ 瀬谷さくら小学校 体育館

広報・学校評価部会

この学校運営協議会だよりの発行が今年度の初仕事になりました。また、学校評価に関しましては、「中期学校経営方針・重点取り組み分野」をベースに、今後、評価を行ってまいります。（西村快晴）

各活動部会報告

教育支援部会

教育支援部会では、支援活動を行うに当たり、学校ではどのような支援を望んでいるのか、また部会としてどう対応するかを模索する中で、教職員に話を聞く会を持ちました。話し合う中で、教科指導にかかわる問題では、学校内でもう少し検討の余地がありという判断に至り、具体的なものを後日部会に提示することになりました。

本年度の取り組みとして、6月15日には、1年生の交流授業を行いました。登下校時に子どもたちを見守っている「学援隊の人のことをよく知ろう」というもので、子どもたちが学援隊に質問するなどして交流



を深めました。6月22日には、「昔の遊び」です。地域のおじさん・おばさんたちが、幼いころに遊んだ得意な遊びを披露する中で、子どもたちも出来るようになるよう練習し交流しました。6月24日には、「お礼の

会」で、子どもたちが努力して作り上げた紙芝居や一生懸命練習した合唱を披露し、最後になぞなぞをして楽しい時間を過ごしました。

7月に入って行ったのが「盆踊り」です。地域と学校、保護者が協力して毎年行っている「さくら小地域夏祭り」があります。その時に、子どもたちが楽しんで踊れるようにと、地域の踊りの会の人たちが「盆踊り練習」の指導を行いました。3回行った中で、ぎこちなかった踊りも段々に形が整ってきました。

今後に向けては、子どもたちが地域の人たちとの交流を深める中で、学校との話し合いを重ね、支援活動が充実したものになるよう努力していきたいと考えています。（與倉光男）

はまっ子部会

瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクールも早2年目の夏休みを迎えようとしています。当はまっ子の指針として本年も、児童の創造性、自主性、社会性を養い、児童の健全育成を目的に、安全安心な遊び場としてスタートしました。今年も1、2年生の参加が多く、毎日30数名の参加がありますが、みんな元気いっぱい、はまっ子で遊んでいます。



また、今年も学校の工事で中断していましたが様々な特色ある活動、夏休みオリジナルカレンダー作りをはじめ、すいか割り大会やサッカー教室、秋には3年目の落花生・お芋掘りなど、様々な事業を参加児童に経験してもらいたいと思っています。

地域交流部会

学校は、団体生活を通して人間形成・協調性を育成する場所で、下校後の日常生活における社会的秩序・ルールを守ること、要するに物事の善悪・躰は地域の人たちに教えて頂かなければいけないと思います。そのためには、私たちが地域の行事に積極的に参加し、地域の方々には学校の行事に参加して頂き、教職員・保護者・地域が一体となり行動する必要があると考えます。

7月16日、17日に行われた「さくら小地域夏まつり」はその典型的な行事で、非常に良かったと思います。一年生全員がやぐらの周りで踊った盆踊り、教職員・保護者・地域の方々との模擬店など、和やかで微笑ましい光景が目につきました。子どもたちも、地域のおじさん・おばさんに叱られ成長して行きます。（飯島通博）



学援隊部会

120 240 360 12,600 236,000

「瀬谷さくら小学校学援隊」の総会が平成23年6月21日15時よりさくら小学校コミュニティスクール研修室で開催されました。参加者は総勢70名ほどになりました。

八嶋校長のお礼の挨拶に続き、体調を崩して欠席されました靄山隊長に代わり馬場副隊長が開会の挨拶をされました。引き続き来賓の瀬谷区地域振興課の吉川雅和課長、瀬谷警察生活安全課の平岡一夫課長、学校運営協議会の網代宗四郎会長に挨拶を頂きました。平岡課長には防犯講習と青パト講習の講演を30分ほど頂きました。

その後決算報告などの議案審議がなされ、総会後の17時より下瀬谷団地集会場にて50名の参加で懇親会が行なわれて、隊員相互と先生との交流など文字通りの楽しい懇親会となりました。



ところで表題の数字は何だかお判りでしょうか？

120は隊員の人数、240は青パトの年間出動回数、360は通学路など学校周辺への隊の年間出動回数、12,600は年間の延べの出動人員数

です。236,000はアルミ缶の昨年1年間の売上代金です。出動人員の自給を時間1,000円とすると総額はいくらですかね？（野口 元）

- ◆ 「お願い」
- ◆ 特色ある活動は地域の皆様のご協力のもと行っています。子どもたちに得意分野を披露、伝承指導していただける方がいらっしゃいましたらご一報ください。
- ◆ ご協力のほどよろしくお願い致します。（青木俊太郎）

あいさつのできる子どもたちに感激

副会長 馬場勝己



下瀬谷坂上の交差点に見守りのため立っていると、通学の子もたちがやってきます。みんな大きな声で「おはようございます」とあいさつをしてくれます。

開校当初は、ひなた山地区の児童は通学が遠くなり、教育環境が変化する等に順応できるか不安もありましたが、元気に通学する様子を見て、ほっとしていると同時に、子どもたちの順応力の高さに改めて感心しています。

大勢の中で揉まれて逞しい子どもに育つことを信じて、今後も学校と地域・家庭が連携してまいります。

地域の皆様に支えられて

副校長 網 宏和



「おはようございます」の朝の挨拶とともに学校の周りを歩くのが副校長の日課です。毎日大勢の学援隊の方々が交差点や横断歩道に立たれています。雨の日も風の日も皆さんの姿を見るたびに感謝の気持ちは言葉では言い表せません。

7月に行われた「さくら小地域夏祭り」では、地域の子どもたちの健全育成のためという皆様の思いがそれぞれの自治会・町内会の模擬店にも表れて、子どもたちは楽しい2日間を過ごすことができました。本当に、地域の力を感ぜずに過ごす日はない毎日です。

瀬谷さくら小学校が開校し、2年目となります。学校運営協議会も開校と同時に発足し、たくさんのご支援をいただきました。学校と地域が連携して、全ての子どもたちの幸せを願い、日々の教育活動が推進できればと思っております。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



「まちの教育座談会」に参加

7月2日、社会を明るくする運動瀬谷第二地区推進委員会と下瀬谷中学校区児童生徒健全育成協議会共催の、「地区集会」と「まちの教育座談会」が開催され、瀬谷さくら小学校からも児童代表と先生方が参加されました。

第1部の「地区集会」では、ビデオ「更生保護」を鑑賞し、罪を償い、再出発しようとしている人たちや、彼等を指導し相談にのったり、様々な支援をしている保護司に対する理解を深めました。

第2部の「まちの教育座談会」では、瀬谷さくら小学校児童は、「あいさつ運動の取り組み～みんなの笑顔があふれだす 友だちいっぱいさくら小～」について元気よく発表し、会場の人たちから大きな拍手を受けました。また、その後の「私の瀬谷・みんなの瀬谷～だれもが気持ちよく過ごせるまち・今できること～」をテーマとしたパネルディスカッションでは、6年生の木村さんと生出先生がパネラーとして参加し、しっかりと自分の意見を述べていました。発表された意見や提言は、今後のまちづくりに反映されます。

今後の予定

- | | | |
|------------------|-----------------------|--------------|
| *学校運営協議会 全体研修会 | 9月17日(土) 10:00～ | 瀬谷さくら小学校 体育館 |
| *瀬谷さくら小学校 運動会 | 10月22日(土) 9:00～ | 瀬谷さくら小学校 校庭 |
| *コミュニティスクール全国研修会 | 11月17日(木) 10:30～16:30 | 横浜市開港記念会館 |

【編集後記】

中期学校運営方針、学力向上アクションプランに3ページを費やした上、学校説明会の資料なども重複しておりますが、これは学校運営の基幹をなすものであり、皆様のご理解が必要と考え、あえて掲載いたしました。

また、本号ではじめて、学校運営協議会の役員や委員の方に、活動報告を兼ねて記事の執筆をお願いしました。新しい感覚の情報や考え方をご披露できたのではないかと思います。その分、編集者の記事執筆負担は軽減されましたが、寄稿日と発行日の板挟みで、新しい悩みも発生しました。

しかし、今後も、地域の方々や保護者、先生方から広く記事を募集し、内容豊富な紙面にしていきたいと考えています。(西村)

学校運営協議会だより
平成23年度・第1号

平成23年8月19日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者
会長 網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会